

林業の担い手

〜県内認定事業体で働く
若き現場技能者たち〜

今年度も「緑の雇用」新規就業者育成推進事業による集合研修が、6月からスタートしています。見て覚えるだけでなく、研修を通して安全な林業技術の習得を図ります。昨年は、1年目から3年目の林業作業士(フォレストワーカー)150人が研修を終えました。今年は133人が研修を受講します。今回は、駒ヶ根市のNPO法人森林環境で働くお二人をご紹介します。



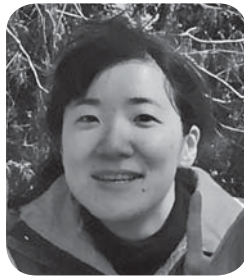
くまがい なお
熊谷 直さん

年齢 29歳
経験年数 5ヶ月

◇趣味◇
キャンプ・登山

森からの恵み

薪ストーブと薪風呂を焚きながら生活すると1年。森の恩恵を受ける日々の中で、自然のなかで仕事がしたいと考える中、縁もあり転職を決断しました。様々な林業機械の操作や保守、各種申請や検査書類の準備、必要資材の手配、新規事業の模索など、多岐にわたる職務内容にやりがいを感じています。支えてくれる家族や仲間、そして「森」への感謝を忘れずに技術を磨いてゆきたいと思っています。



ももせ あきこ
百瀬 晶子さん

年齢 29歳
経験年数 2年1ヶ月

◇趣味◇
山登り・自転車・炭焼き

この仕事の意味って

現場の仕事に追われると、作業の意味を深く考える余裕がありませんでした。でも今年の前めから、里山の整備を担当するようになり(何もかも教えてもらいながらですが)、山の所有者さんに言われた言葉、「伐り方はまかせから、気持ちいい山にしてくれ！」ようやく山を作っている実感を持ちはじめました。この景色が好きで名古屋から移り住んで



事業主コメント

たけれど、これから50年後の景色を自分たちが作っていくと思うと、つくづく、林業って深く、おもしろくて、責任重大な仕事だなあと感じます。とにかく日々勉強です！

NPO法人森林環境 理事長 湯澤 要次さん



自然と景観の素晴らしい伊那谷で、里山整備及び自然環境保全を目的に活動しています。

日本人は昔から国土の土台である森林を守り続けてきました。森林を育てる労働あつてこそ、地下水も川の水も海の環境も約束されます。次世代の為に今後も黙々と山と取り組んでいきます。

NPO 法人森林環境

所在地/駒ヶ根市経塚7-11
創立/平成17年
体制/役員6名、従業員8名
勤務時間/変形労働時間制
主な業務/森林整備、特用林産物

